

青少年専門員だより

75号

令和6年12月1日



山形県青少年健全育成県民大会が開催されました！

置賜地区から多くの皆様のご参加をいただき、ありがとうございました！

10月27日（日）、村山市民会館において、令和6年度山形県青少年健全育成県民大会が開催されました。県内の青少年健全育成にかかわる皆様が一堂に会し、課題の共有を図るとともに、問題解決や実践活動への決意を新たにす大会となりました。

県民会議表彰では、長年青少年活動に尽力された14名の皆様が受賞しました。また、「いじめ防止」県最優秀標語に選ばれた小・中学生4名とポスター最優秀作品に選ばれた高校生1名が受賞しました。

<いじめ・非行防止セミナー>

式典に引き続き行われた いじめ・非行防止セミナーでは、山形県少年の主張大会で最優秀に輝いた井上愛奈さん（白鷹町立白鷹中学校3年）の「障害を乗り越えて」と題した発表がありました。部活動に打ち込んだ日々、自らの経験から生き方を考え、未来を切り開いていくという強い意志が表れた堂々たる主張発表でした。井上さんは、北海道・東北ブロック代表（2名）として11月24日に開催された全国大会に出場し、審査委員長賞を受賞しました。

●事例発表「子どものウェルビーイングを求めて」

特定非営利活動法人クリエイティブひがしね理事の三浦通夫氏による事例発表では、遊びを通して心を育てる素晴らしい取り組みをお聞きました。遊びは人間形成の基盤であり、学びや生き方につながるものです。青少年育成活動には多様な考え方や活動方法があることを実感する発表でした。

●講演「でっかい子育て育て」

講師の中村文昭氏（クロフネカンパニー代表）から、ユーモアを交えながらの楽しく学びの多いお話をお聞かせいただきました。中村氏は人との出会いとポジティブな考え方を大切にしてきました。その生き方の根幹をなすのは「聞いた言葉で心がつくれる、はき出す言葉で未来がつくれる」ということです。会場の皆さんの心に響く講演でした。



おめでとうございます！！

置賜地区関連の受賞者紹介

- ◆青少年育成成功労者 土屋 博 様 （米沢市）
 - ◆「いじめ防止」県最優秀標語 内山 千咲登 さん （高島町立高島中学校3年）
 - ◆山形県少年の主張大会最優秀 井上 愛奈 さん （白鷹町立白鷹中学校3年）
- 第46回少年の主張全国大会（北海道・東北ブロック代表として出場） 審査委員長賞



土屋 博 様



内山 千咲登 さん



井上 愛奈 さん

青少年健全育成を推進する役割の重要性を学ぶ

令和6年度 置賜地区青少年育成推進員研修会

11月24日（日）、高畠町糠野目の生涯学習館において、令和6年度置賜地区青少年育成推進員研修会が開催されました。高畠町教育委員会社会教育課の皆様からご協力をいただき、30名を超える関係者の参加を得て実施することができました。

置賜地区青少年育成連絡協議会の山口和夫会長は挨拶の中で、SNSを介して青少年が「闇バイト」等の犯罪にねらわれていることに触れ、見守りやかかわりの大切さを改めて確認しました。簡単に子どもが犯罪の加害者にも被害者にもなってしまう現状について理解を深めると共に、新たな課題にしっかりと向き合い、対応していくよう努めたいものです。

【講演】演題「警察ボランティアと連携した少年の健全育成活動」

講師 山形県警察本部生活安全部人心安全少年課

少年サポートセンター置賜 少年補導専門官 安達 美由紀 氏

青少年が、暴力・性的被害・盗み・家出などの問題行動を起こしてしまう根っこは以前と変わらず「不安・怒り」「寂しさ・悲しさ・満たされなさ」などにあり、個々の事案の本質・背景を捉えることが重要である。また、青少年は皆、潜在的に非行に走る危険性を有しているが、それをコントロール(抑制)する何かがあるから多くの方は非行に走らない。そこには社会的絆理論があり、「好きな人がいる(愛着)」「ルールを守る(規範意識)」「居場所がある」「目標がある」などが心のブレーキとなり犯罪に走ることはないと強調されていました。

【活動発表】各市町における特色ある活動を紹介していただき、 学びの多い研修となりました。ありがとうございました！

○南陽市の青少年健全育成に関する活動について
南陽市青少年育成推進員会長 後藤 優美 氏



☆異年齢や地域の方との交流が生まれ、将来を担うリーダーの育成が期待されます。

○「教育キャンプ」の取り組みから
高畠町青少年育成推進員会長 清澤 穰 氏



☆地域の大人が地域の子どもの育成することで、かかわりや感謝が生まれる好事例です。

毎月第3日曜日は「家庭の日」

上段が月別推進テーマ
下段が行動実践事例

12月

「家族みんなで協力して、仕事を
分担して助け合う」

・掃除や食事の準備など
家庭の仕事を分担して
行いましょう。



1月

「新しい年を迎え、
一年の計画をたてる」

・各自の夢やわが家の目標などを家族で
話し合い、家族の「〇〇の日(目標の日
や記念の日)」をつくっていきましょう。

家族そろって笑顔で過ごす時間をつくるよう呼びかけましょう！！